

北薩感染症情報

2023年第34週(8月21日~8月27日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル		注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
		定点報告数												
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	28	15	2.14	↓	—	—	1	0.20	↗	—
	COVID-19	—	—	—	88	133	19.00	↗	—	50	56	11.20	↗	—
小児科定点	RS	—	—	—	8	3	0.75	↓	—	7	—	—	↓	—
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—	—	—	—	→	—	4	1	0.33	↓	—
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—	4	4	1.00	→	—	4	—	—	↓	—
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—	9	15	3.75	↗	—	1	1	0.33	→	—
	水痘	2.0	1.0	1.0	—	1	0.25	↗	—	—	—	—	→	—
	手足口病	5.0	2.0	—	2	4	1.00	↗	—	3	3	1.00	→	—
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	突発性発疹	—	—	—	2	2	0.50	→	—	—	1	0.33	↗	—
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—	2	1	0.25	↓	—	5	20	6.67	↗	◎
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	—	—	—	→	—	—	1	0.33	↗	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—	—	—	—	→	—	△	△	△	△	△
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	—	3	—	—	↓	—	△	△	△	△	△
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
インフルエンザ 入院報告	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	△	→	—	
報告数合計		—	—	—	146	178	△	↗	△	74	84	△	↗	△
<p><注意報・警報レベル></p> <ul style="list-style-type: none"> ・川薩保健所管内 なし ・出水保健所管内 ヘルパンギーナ(警報レベル) <p><全数報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・川薩保健所管内 なし ・出水保健所管内 追加 梅毒1例(第33週) <p><インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・川薩保健所管内 なし ・出水保健所管内 なし 														

定点種別	疾病	警報/終息基準値	注意報基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				25W	26W	27W	28W	29W	30W	31W	32W	33W	34W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	38.14	50.71	54.57	33.29	19.43	10.14	2.71	3.00	4.00	2.14
	COVID-19	—	—	6.00	8.86	10.14	17.29	19.86	23.86	23.29	14.14	12.57	19.00
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	2.00	1.25	1.75	0.75	0.75	0.75	1.00	1.50	2.00	0.75
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	0.25	1.00	—	0.25	—	0.25	0.25	0.50	—	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	0.75	1.25	—	—	0.25	1.25	0.50	1.00	1.00	1.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	3.00	1.25	2.75	3.00	3.75	2.25	2.75	1.00	2.25	3.75
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	0.75	—	0.50	—	—	—	—	0.25
	手足口病	5.00/2.00	—	2.25	3.50	2.75	3.00	2.75	1.50	0.25	0.50	0.50	1.00
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	0.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	0.50	—	1.25	0.50	0.75	0.25	0.50	1.00	0.50	0.50
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	23.75	18.00	22.00	15.50	9.50	4.75	2.25	1.00	0.50	0.25
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	0.25	—	—	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	1.00	3.00	3.00	—	2.00	10.00	10.00	1.00	3.00	—
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

定点種別	疾病	警報/終息基準値	注意報基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				25W	26W	27W	28W	29W	30W	31W	32W	33W	34W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	3.20	2.40	2.40	3.60	8.00	5.20	3.80	1.60	—	0.20
	COVID-19	—	—	5.80	3.40	10.60	21.20	24.20	34.60	26.40	13.60	10.00	11.20
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	13.67	16.67	14.33	18.67	16.33	15.67	11.67	7.00	2.33	—
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	1.33	0.67	0.33	1.33	0.67	0.33	0.67	0.67	1.33	0.33
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	1.33	2.00	1.00	1.67	—	—	—	0.67	1.33	—
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	0.33	1.67	0.33	0.67	0.33	0.33	1.67	—	0.33	0.33
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	0.33	—	0.33	—	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	0.33	—	0.67	1.00	0.67	1.33	—	—	1.00	1.00
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	0.33	0.33	0.33	—	—	0.33	—	0.33	—	0.33
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	1.67	1.67	4.67	8.00	6.67	5.33	5.00	1.67	1.67	6.67
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.33
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

★第 34 週に関しては、どちらの地域においても COVID-19 の報告数が増加しました。また、出水においてはヘルパンギーナが急激に増加していますが、先週末までの減少傾向はお盆の影響があるのではないかと考えられます。涼しい室内だけでもマスクを着用したり、その分手指衛生に気をつけたりと、自分の健康は自分で守るよう心がけましょう。

★新型コロナウイルスに関する参考資料

新型コロナウイルス感染症 「診療の手引き」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000936655.pdf>

新型コロナウイルス感染症 「病原体検査の指針」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000914399.pdf>

新型コロナウイルス感染症 「罹患後症状のマネジメント」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000952747.pdf>

流行性角結膜炎(はやり目)にご注意ください!!!

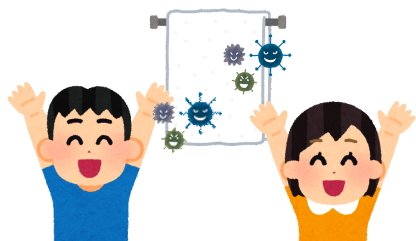
大人も多数!

流行性角結膜炎とは?

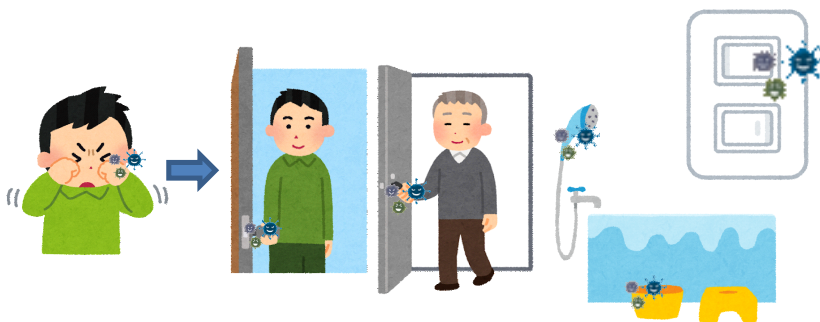
アデノウイルスというウイルスによる疾患であり、瞼が腫れたり、充血したり、涙やめやにが出たりします。夏に多く、潜伏期は8~14日です。感染力が非常に高いため、はやり目とも言われます。小児(特に1~5歳)に多い疾患ですが、成人を含む幅広い年齢層で見られます。

※潜伏期...細菌やウイルスなどの病原体が体内に侵入してから症状として現れるまでの期間

どうやって感染するの?



①タオルの共有をする



②感染部位を触った後にもものに触れ、他者が触れる

感染しないようにするには...?



①ペーパータオルや個人のタオルを使う



②共有箇所のこまめな消毒と手洗いをを行う

どんな症状が出るの? 出たらどうしたらいいの?

○症状○

- ・充血
- ・痛い
- ・かゆい
- ・まぶしい
- ・目がごろごろする
- ・流涙
- ・瞼が腫れる
- ・耳下腺の腫脹・圧痛
- ・白目がぶよぶよになる(むくむ)



○対応○

眼科に電話をし、受診しましょう。必ず、窓口で症状について伝えましょう。また、診断された場合、学校や幼稚園に電話連絡をしましょう。学校や幼稚園の場合は出席停止、職場については場合により出勤停止になりますので医師と相談の上、今後の出勤について職場と判断しましょう。

熱中症警戒アラートが 発生していました！



熱中症とは？

高温多湿なところにいると、平温を保つために汗をかき（汗の蒸発に伴って熱が奪われる（気化熱））、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）の減少や重要臓器への血液の流れが滞ります。その結果、こむら返りや失神（脳貧血）をおこし、さらに体温調節機能がうまく働かなくなると体内に熱がこもり体温が急激に上昇します。このような状態を熱中症といいます。熱中症になる前に適切に対処しましょう。

どんな症状がでるの？



めまい・立ちくらみ



吐き気・嘔吐

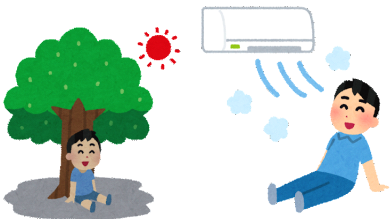


こむら返り・手足のしびれ

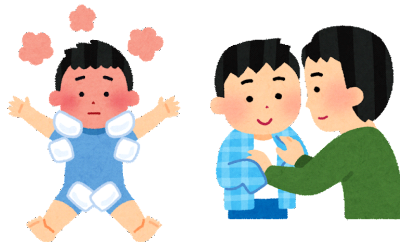


倦怠感・虚脱感

熱中症になったらどうしたらいいの？



①涼しいところへ移動する
風通しのよい日陰やエアコンの効いている室内へ移動しましょう。



②からだを冷やす
首周り、脇の下、足の付け根を中心に冷やしましょう。衣服を脱がせたり、緩めたりしましょう。



③水分・塩分を補給する
経口補水液も効果あります。自力で飲めない場合は救急車を呼びましょう！

ならないためには？

～屋内～

- ・扇風機やエアコンを利用する
- ・遮光カーテンやすだれ、打ち水を活用する
- ・室温やWGBTをこまめに確認する

～屋外～

- ・日傘や帽子を着用する
- ・日陰を歩き、こまめに休憩する
- ・天気のいい日は日中の外出を避ける

屋内や梅雨の時期も
実は危険なんだよ！



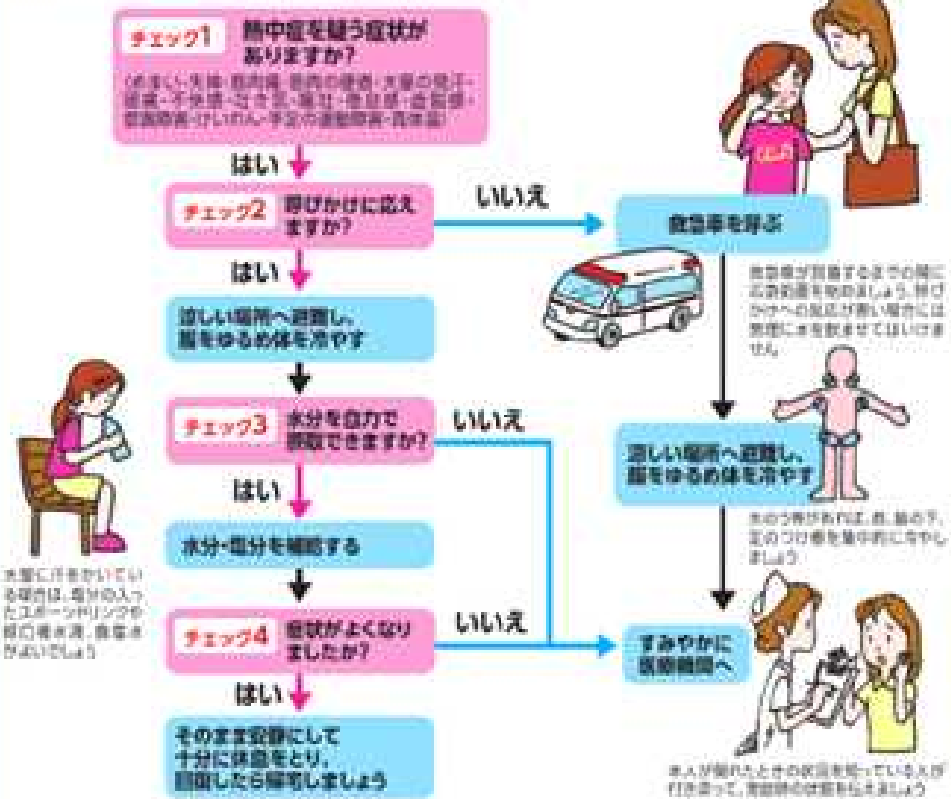
～避難所偏～



- ・車中泊では、寝るときにエンジンをつけっぱなしにしない
- ・日陰や風通しのよい場所に駐車する
- ・作業は2人以上で行う
- ・のどが渇いていなくても定期的に水分・塩分・休憩をとる

熱中症の応急処置

もし、あなたやまわりの人が熱中症になってしまったら——
落ち着いて、状況を確かめて対応しましょう。最初の応急処置が大切です。



体温を効果的に下げるための方法の例

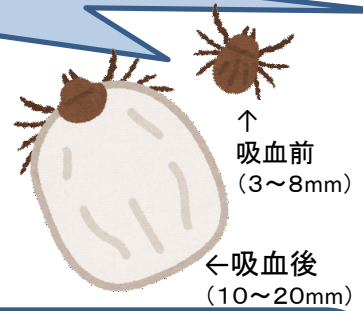
- ・上着を脱がせ、服をゆるめて風通しを良くする。
- ・皮膚に濡らしたタオルやハンカチをあて、うちわや扇風機であおぐ。
- ・服の上から少しずつ冷やした水をかける。
- ・氷のうや冷えたペットボトルなどを、首、脇の下、足のつけ根にあてて冷やす。

【熱中症警戒アラートTM】は環境省のLINE公式アカウントで確認することができます。
※熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される日に発着する情報。令和3年度から全国展開。



QRコード

マダニにご用心ください！



マダニって怖い...？

マダニはシカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。さらに、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。病原体（細菌やウイルスなど）を保有するダニに刺されると病気を発症（ダニ媒介感染症）してしまいます。マダニに咬まれてから6日～14日で症状が出ます。マダニの持つウイルスによって疾患名が異なりますが、西日本に多いSFTS（重症熱性血小板減少症候群）は5月から8月に多く、致死率は10～30%程です。

どんな症状がでるの？～SFTSの場合～

- ①発熱・倦怠感
- ②腹痛・嘔吐・下痢
- ③出血しやすい(あざ, 下血など)
- ④リンパ節が腫れる(首, 脇, 脚の付け根など)
- ⑤筋肉痛・けいれん



もしも咬まれてしまったら...？



自分でマダニを除去してはいけません！

マダニの腹部を指でつまむと、マダニの体液成分が皮膚内に流入しやすくなり、ウイルスや細菌が侵入する可能性が高くなります。マダニは皮膚組織と固く接着し、吸血しているため、無理に引っ張ってしまうと皮膚内に口が残ってしまいます。

マダニに気づいたら早めに医療機関を受診し、除去してもらいましょう。

※もし、自分でとってしまった場合は、マダニは捨てず、保管しておきましょう。症状が出て医療機関を受診する際に持参しましょう。早期治療の手がかりになるかも知れません。



マダニ媒介感染症を防ぐには？



①肌の露出を控える

- ・シャツやジャケットはズボンに入れる
- ・ズボンの裾は靴の中へ入れる
- ・袖は手袋の中へ入れる
- ・帽子も着用する
- ・ハイネックまたはタオルを首に巻く



②室内に持ち込まない

- ・上着や作業着などは外で脱ぐ
- ・入浴時にマダニが体に付着していないか確認する
- ・衣類に付着しているマダニはガムテープなどで取り除く
- ・マダニの忌避剤(虫よけ剤)を使用する





今年も あなたの血を狙って 奴らがやってくる!

～ダニ・蚊の襲来に備えよ～

草むらに入
る時は
注意しよう!

肌の露出を
減らそう!

虫よけ剤を
使おう!

ペットの
虫よけも
万全に!

蚊やダニは病気を持っているものもあり、咬まれないことが大切です。

【ダニが媒介する感染症】重症熱性血小板減少症候群(SFTS)・ダニ媒介脳炎・日本紅斑熱・つつが虫病・ライム病 など

【蚊が媒介する感染症】日本脳炎・デング熱・チクングニヤ熱・ジカウイルス感染症 など

蚊・ダニに咬まれないポイント

蚊・ダニ共通対策

- 肌の露出を少なくする
 - 長袖・長ズボンを着用する
 - 足を完全に覆う靴を履く(サンダルなどは避ける)
- 明るい色の服を着る
- 虫除け剤を使用する

ダニ対策

- 帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻くなど
 - シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる
- ※野外活動後は入浴し、ダニに咬まれていないか確認しましょう。特に、首、耳、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏などに注意しましょう。



蚊媒介感染症
厚生労働省



ダニ媒介感染症
厚生労働省



※各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考にしてください。

食品による感染症！？



食べ物が原因ってどういうこと？

食品そのものは有毒ではなく、食べ物に付着している病原体（細菌やウイルスがもつ毒素）を体内に取り込むことで感染が成立してしまいます。つまり、食中毒のことです。食中毒の原因はいくつかありますが、その中に、細菌やウイルスもあります。

例えば、牛や豚はと畜場で解体処理を行います。その際に腸内に存在する病原性の細菌が内臓や表面に付着してしまいます。これは、新鮮なものか、どこで処理したものかどうかは関係ありません。また、精肉に限らず、様々な食品に病原体が潜んでいる可能性がありますので、対策をしっかりと行いましょう。

どうやって防げばいいの？

細菌が原因となるもの

- ①細菌を食品につけない
- ②食べ物に付着した細菌を増やさない
- ③食べ物や調理器具に付着した細菌をやっつける

ウイルスが原因となるもの

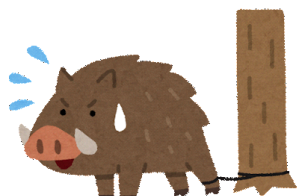
- ①ウイルスを調理場内に持ち込まない
- ②食べ物や調理器具にウイルスを広げない
- ③食べ物にウイルスをつけない
- ④付着してしまったウイルスを加熱してやっつける



ポイント

- ・石けんで手を洗いましょう
- ・肉や魚はしっかりと中まで火を通しましょう
- ・調理後は直ちに冷蔵保存しましょう
- ・野菜はよく洗い、肉とはまな板や包丁などの調理器具を分けて調理しましょう

主な食品	病原体	流行時期	潜伏期	その他
生肉、生野菜	腸管出血性大腸菌	初夏～初秋	12～60時間	重症化する場合もあるが、加熱で防げる
生肉（特に鶏肉）、生野菜	カンピロバクター	高温多湿の夏場（特に9月）	2～7日	まれにギランバレー症候群を起こす
おにぎり、パン	黄色ブドウ球菌	5～10月	30分～6時間	熱に強い・細菌自体は健康人の鼻腔などにも生息
煮込み料理（カレーなど）	ウェルシュ菌	5月	6～18時間	熱に強いので、冷却保存が効果的
さしみ、すし	腸炎ビブリオ菌	夏（特に7～8月）	4～96時間前後	塩分のあるところで増殖
生卵、オムレツ、レバ刺し	サルモネラ菌	7から9月（特に8月）	6～48時間	乾燥に強く、熱に弱い
二枚貝、汚染された水道水	ノロウイルス	11月～4月（特に11月～2月）	1～2日	人の便や嘔吐物から感染する場合もある
生肉（豚・ジビエ）、レバー	E型肝炎ウイルス	雨期（東南アジアの場合）	6週間	ほとんど症状がない



家庭でできる 食中毒予防の6つのポイント

point 1
食品の購入

毎日道しなないで
まっすぐ帰ろう

肉・魚はそれぞれ
分けておく

できれば
保冷剤(冷)などと一緒に

肉類肉類などの
表示をチェック!

point 2
家庭での保存

買ったらすく冷蔵庫へ!

入れるのは7割程度に

肉・魚は汁が
もれないように
包んで保存

冷凍庫は
10℃以下に
維持

冷蔵室は
-15℃以下に
維持

冷凍中に庫内温度に
変動を及ぼす原因の
原因は避けておきましょう

point 3
下準備

冷凍食品の
解凍は
冷蔵庫で

タオルや食器は
洗濯したものを使う

ゴキブリはこまめに
駆除する

こまめに
手を洗う

肉・魚を
解凍したら
風通しを付けておく

肉・魚は生で食べる
ものから避ける

調理器具
よく洗う

包丁などの道具、
ふたなどは洗って消毒

井戸水を
使っているなら
水質に注意

point 4
調理

加熱は十分に
(肉や魚は中心部分の
温度が75℃で1分以上)

作業前に
手を洗う

台所は
清潔に

電子レンジを使う
ときはシート
を貼られるようにする

調理を途中で
止めたら
食品は冷蔵庫へ

point 5
食事

食事の前に
手を洗う

盛り付けは
清潔な器具、
食器を使う

長時間室温に
放置しない

point 6
残った食品

時間が経ち過ぎたら
ちょっとでも臭いと感じたら、
思い切って捨てる

作業前に
手を洗う

手洗いや、
清潔な器具、
食器で保存

温めなおすと食は
十分に加熱する
(肉や魚は75℃以上)

早く冷えるように
小分けする

食中毒予防の3原則 食中毒菌を「付けない、増やさない、やっつける」